

## 児のそら寝

昔、延暦寺に児がいた。僧たちが、宵の所在なきに、「さあ、ぼたもちを作ろう。」と言ったのを、この児は、期待して聞いた。そうかといって、作り上げるのを待って寝ないのも、よくないにちがいないと思って、片隅に寄って、寝ているふりで、でき上がるのを待ったところ、はやくも作り上げた様子で、騒ぎ合っている。

この児が、きつと起こそうとするだろうと、待ち続けていると、僧が、「もしもし。お目覚めなさいませ。」と言うのを、うれしいとは思うけれども、ただ一度で返事するとしたらそれも、待っていたのかと思うといけないと思つて、もう一声呼ばれて返答しようと、我慢して寝ているうちに、「これ、お起こし申し上げるな。幼い人は、寝込んでしまわれたよ。」と言う声だったので、ああ、情けないと思つて、もう一度起こしてくれよと、思いながら寝て聞くと、むしやむしやと、ただひたすら食べに食べる音がしたので、しかたなくて、ずつとあとに（なつて）、「はい。」と返事をしてしまったので、僧たちは笑うことが際限ない（ことだった）。